

静岡県内の特別支援学校における介護等の体験実施要領

静岡県内の特別支援学校における小学校及び中学校の教諭の普通免許状に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成9年法律第90号）（以下「介護等体験特例法」という。）第2条第1項に定める介護等の体験の円滑な実施を図るため、次のとおり介護等の体験の受入調整を行う。

（対象大学等）

- 1 この要領を適用する大学、短期大学及び教員養成機関（以下「大学等」という。）は、静岡県介護等の体験実施概要書第2条に規定する大学等とする。

（県内各特別支援学校における体験の期間等）

- 2 この要領に基づく介護等の体験の期間は、原則として年度を越えない2日間とし、県内の特別支援学校は、通常の業務に支障のない範囲で、介護等の体験の受入に努めるものとする。

（介護等の体験の実施手続）

- 3 介護等の体験の受入調整は、静岡県教育委員会（以下「県教委」という。）を窓口とし、大学等特別支援学校との組合わせ等により行うものとし、各関係機関は原則として、次の手続を行うものとする。

なお、この他、大学等は介護等の体験の円滑な実施を図るため、特別支援学校と十分な連絡調整を行うものとする。

- （1）大学等は、実施承認申請書（別記第1号様式）及び静岡県内の特別支援学校における介護等の体験希望者名簿（別紙）を、県教委が指定する期日までに県教委に提出する。
- （2）特別支援学校長は、年間受入計画調べ（別記第2号様式）を、県教委が指定する期日までに県教委に提出する。
- （3）県教委は、実施承認申請書と年間受入計画調べをもとに、受入数の調整を行う。
- （4）特別支援学校長は県教委との受入調整の後、介護等の体験年間受入計画（別記第3号様式）を作成し、受け入れる学生が在籍する大学等へ県教委が指定する期日までに送付する。
- （5）大学等は、介護等の体験を実施する特別支援学校へ介護等の体験申込書（別記第4号様式）を提出する。

（証明の依頼等）

- 4 証明の依頼等に関する留意事項

- （1）大学等は、介護等の体験を行おうとする者に対し、事前に静岡県介護等の体験実施概要書第15条に規定する証明書の用紙を配布する。

(2) 介護等の体験を行う者は、配布された証明書の用紙に氏名、生年月日、本籍地を記載して大学等に提出する。大学等は実施学校ごとにとりまとめるうえ、返信用封筒を添えて、最終体験の学生の実施日 2 週間前までに介護等の体験を実施する特別支援学校に提出し、証明の依頼を行う。

(介護等の体験の指導)

5 大学等は、介護等の体験実施に係る教員及び職員を置き、事前指導及び介護等の体験を実施する特別支援学校との連絡等にあたらせる。

大学等は、介護等の体験が終了した学生に、介護等体験自己評価票（別記様式第 5 号）を記入させ、これを取りまとめて、最終体験の学生が終了後 1 ヶ月以内に介護等の体験を実施した特別支援学校に提出する。

(介護等の体験を行う者の責務)

6 介護等の体験を行う者は、大学及び介護等の体験を実施する特別支援学校の指導に、誠実に従わなければならない。

(介護等の体験を行う者を受入れる者の責務)

7 特別支援学校長は、事故等がないよう十分注意し、介護等の体験を行う者に介護等の体験を行う者としてふさわしくない行為等があった場合には、介護等の体験の中止を命ずることができる。

附 則

この要領は、平成 10 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正は、平成 19 年 4 月 3 日から施行する。

附 則

この改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正は、平成 31 年 1 月 11 日から施行する。